



中 田 小

令和3年12月24日

## 学 校 教 育 目 標

さわやか笑顔中田っ子 思い合い ひびきあい  
共に生きる力を育てます。

## 中田小ホームページ

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/nakada/>

それぞれの「金」をめざして

校長 中村 真弓



毎年の暮の風物詩となっていますが、先日、「今年の漢字」は「金」となると発表がありました。オリンピック・パラリンピックでたくさんの日本人選手が金メダルを取ったことなどが理由だそうです。私もステイホームでオリンピック・パラリンピックを観戦しましたが、勝っても負けてもどの選手からもこれまでの努力がどれほどだったかが伝わってきました。夢に向かって人一倍の努力をして、その成果を出し切った清々しい姿には、勇気をもらいましたし、全ての選手に金メダルをあげたい思いになりました。

中田小学校では、今年度オリンピック・パラリンピック教育の一環として、パラアスリートの方に来ていただく機会がありました。障がいのあるなしは関係ありません。どのアスリートの方も、自分はどうなりたのか、何をやりたいのかを見つけて、それに向かって一生懸命に納得がいくまで努力をし、夢をかなえたこととお話しされました。まず夢を見つけること、そして夢に向かって精一杯チャレンジすることの大切さを、ご自身の体験をもとに子どもたちに伝えてくださいました。たとえ金メダルには手が届かなくても、どのアスリートの方も達成感のある清々しい表情でした。きっと「これまでの自分の努力は金メダルにも値する」とご自身で感じていただけるからなのでしょう。

制限がたくさんあった令和3年の学校生活でしたが、様々な場面で子どもたちの思いや発想を引き出すように努めてきました。70周年の児童記念行事や校外学習、様々な学習の場面、これから行われるスポーツレク大会など、子どもたちの発想を大切にしています。70周年をお祝いする活動も継続していますが、12月からは児童運営委員会を中心に、気持ちのよい「あいさつ」からコミュニケーションが広がるような取り組みを考えています。

このような自分の思いや発想がかなえられていく経験から、子どもたち一人ひとりが自分なりの夢を見つけていけることを願っています。誰かと比べる必要はありません。未来の自分を思い描き、夢や目標を見つけてそれぞれの「金」をめざして努力をする。そんな中田っ子たちであって欲しいと、10年後、20年後、30年後に思いをはせた創立70周年記念行事を機に強く思いました。これからも、夢を見つけ、かなえられる子どもたちになるように支援してまいります。

中田小学校にとって、令和3年は創立70周年を迎える特別な年でした。新型コロナウイルスの影響は令和2年に引き続き大変大きく、学校生活でも、夏休み明け1か月の分散登校による学習や行事、様々な活動への影響は、年末になっても続いています。そのような中を、保護者の皆様、地域の皆様には中田小学校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。皆様に支えられて年末を迎えられますことに感謝申し上げます。令和4年もこれまで同様、どうぞよろしくお願い申し上げます。

